

・北陸地方整備局 河川部
・富山河川国道事務所

平成22年1月19日

常願寺川水系河川整備計画(大臣管理区間)の策定について ～常願寺川(大臣管理区間)の概ね30年間の計画が定められました～

常願寺川水系では、河川法に基づき、平成17年11月に策定された河川整備基本方針に沿って、国土交通大臣が管理している区間について、今後概ね30年間の具体的な河川整備の内容を定める「常願寺川水系河川整備計画」が策定され、平成22年1月19日付で官報に公表されることとなりました。今後は本計画に基づき、常願寺川の川づくりを進めてまいります。

常願寺川水系河川整備計画本文及び策定経緯等の詳細については、富山河川国道事務所ホームページ(<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>)をご覧ください。

同時発表

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ(新潟)
富山県政記者クラブ



国土交通省 北陸地方整備局
河川部 河川計画課長 山本 悟司
代表 025-280-8880
河川計画課直通 025-280-8958
富山河川国道事務所
調査第一課長 大熊 義史
代表 076-443-4701
調査第一課直通 076-443-4715

●常願寺川水系河川整備計画(大臣管理区間)の概要(別紙参照)

常願寺川は、富山県南東部に位置し、その源を富山県富山市北ノ俣岳(標高2,661m)に発し、立山連峰の山間部にて称名川、和田川等の支川を合わせながら流下し、富山平野を形成する扇状地に出て北流し、富山市東部を経て日本海に注ぐ、幹川流路延長56km、流域面積368km²の一級河川です。その流域は、県都富山市を含む1市1町からなり、地域における社会・経済・文化の基盤をなしています。さらに、流域内には、中部山岳国立公園、有峰県立自然公園に指定される等の豊かな自然を有するとともに、水質は良好で、富山平野の農業用水、水道用水、工業用水等に利用されています。

今回の常願寺川水系河川整備計画は、国土交通大臣が管理してる河口から横江えん堤付近迄の約21.5kmの区間を実施区間としています。

常願寺川は、我が国有数の急流河川であり、特に越中水害史上最大のものであったと言われる安政5年(1858年)に発生した「鳶崩れ」による大土石流では下流一帯に甚大な被害を与えました。近年でも昭和44年、53年、平成7年、10年の洪水では堤防・護岸・水制等が被災しています。このことを踏まえ、洪水による災害の防止又は軽減(治水)に関しては、「急流河川」特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全確保を目標とし、引き続き根継ぎ護岸や前腹付け工等の急流河川対策の推進とあわせ、新たな急流河川対策の研究開発をすすめます。また、計画規模の洪水が堤防を越流したり、浸透により堤防が決壊しないよう河道整備を進めます。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持(利水)に関しては、引き続き関係機関と連携しながら良好な水質の維持に努めます。また、河川水の伏没・還元機構に関する調査・研究を継続し、正常流量の定まっていない上流区間における適正な流量の確保に努めます。

河川環境の整備と保全(環境)に関しては、常願寺川に生息する植生・魚類や下流部の水辺の自然環境、石の河原等の河川景観を保全し、流域内の生物の生息・生育環境の連続性確保に努めます。また、先人の知恵や工夫、常願寺川がもたらす脅威、恵み、楽しさを人々が理解、享受できるよう、流域の歴史・物語の追体験や恩恵の体感など、ソフト面も含む整備・保全を図ります。

河川の維持管理に関しては、堤防等の河川管理施設、河道や河川空間が本来もっている機能を十分発揮できるような良好な状態を継続させるために効果的かつ効率的な維持管理を実施します。

●策定プロセス

平成18年10月から関係地方公共団体の長、学識経験者、水利使用関係者等で構成される「常願寺川流域懇談会」において議論され、説明会や縦覧コーナー等により地域の皆様のご意見を踏まえ、平成21年3月に河川整備計画(案)がとりまとめられました。その後関係機関との調整を経て、このほど常願寺川水系河川整備計画が策定されました。

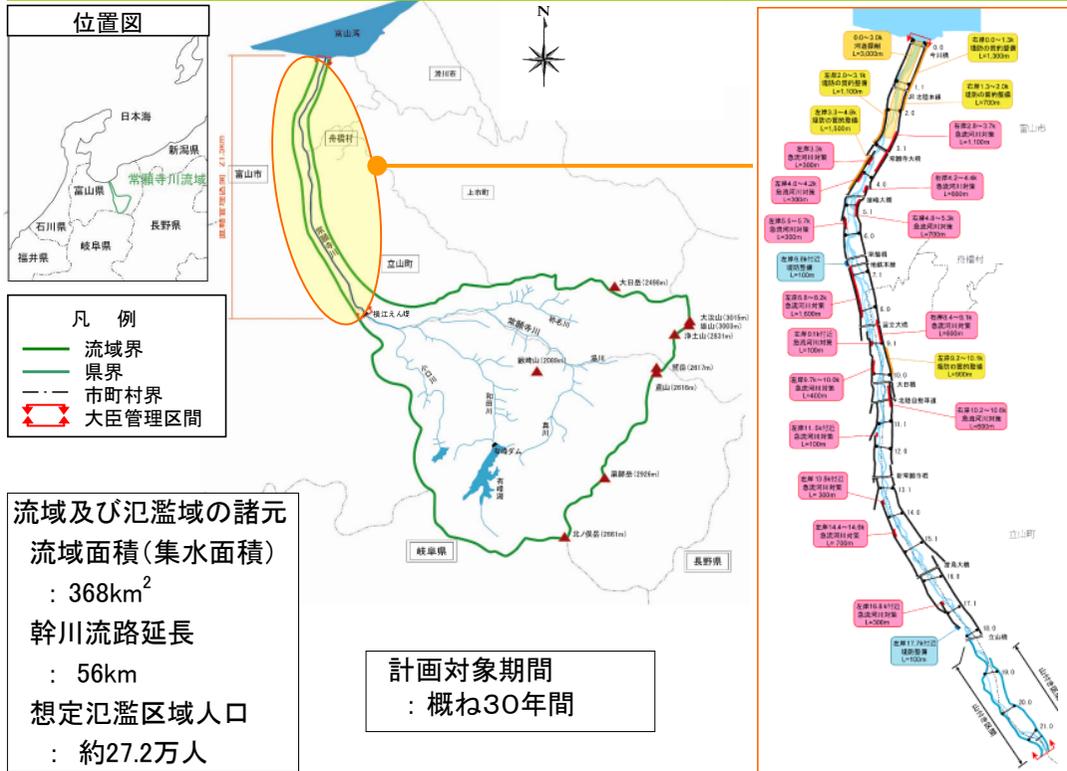


総曲輪フェリオグランドプラザでの説明会

常願寺川水系河川整備計画(大臣管理区間)の概要

流域及び河川の概要、計画対象区間及び期間

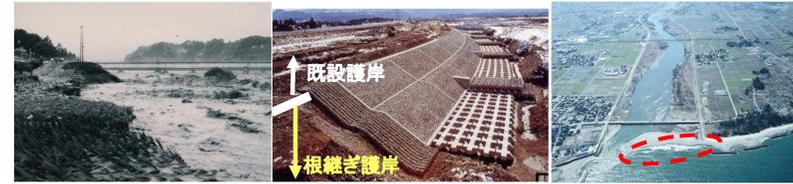
- 本計画の対象区間となる下流部においても河床勾配は約1/100という我が国屈指の急流河川
- 本計画の対象エリアとなる下流扇状地では、ひとたび氾濫すると拡散型の氾濫形態となり県都富山市を含む広範囲に甚大な被害がおよぶ



洪水による災害の発生防止又は軽減

- 急流河川特有の洪水時のエネルギーに対する堤防の安全性を確保
- 計画規模の洪水の越流、浸透による堤防の決壊を防止するための河道整備

- ・ 急流河川対策
- ・ 河道掘削
- ・ 堤防整備(量的・質的)



岩嶺野地先破堤状況(S44洪水) 急流河川対策(根継ぎ護岸) 河口砂州堆積状況

- 急流河川の土砂動態の解明に向けた調査・研究への取り組み
- ハード・ソフト両面での水防管理体制の強化・充実を推進
- 想定される地震に対し、地震後壊滅的な浸水被害を防止するための対策を実施

- ・ 土砂動態のモニタリングと総合土砂管理
- ・ 霞堤の機能維持、保全
- ・ 防災情報の質の向上と伝達の迅速化等
- ・ 大規模地震等への対応



大規模地震対応訓練 侵食センサー設置状況

流水の適正な利用及び正常な機能の維持

- 関係機関と連携し、良好な水質の維持
- 正常流量の検討のための調査・研究を継続し、適正な流量の確保に努める

- ・ 水質調査、水質事故の対応
- ・ 流況等モニタリング
- ・ 関係水利使用者間の湯水調整



水質調査の状況 横江えん堤における試験放流

河川環境の整備と保全

- 常願寺川の自然環境・景観の保全及び生物の生息・生育環境の連続性確保
- 常願寺川流域の風土資産を活用したフィールドミュージアムの形成と多様な利用空間の創造

- ・ 環境モニタリング
- ・ 生物の生息・生育環境の連続性確保
- ・ 工事による環境への影響軽減
- ・ 常願寺川フィールドミュージアムの形成
- ・ 住民のニーズに応じた多様な利用空間の創造



河川水辺の国勢調査 大場の大転石

河川の維持管理

- 常願寺川の有する機能が十分発揮されるよう効果的・効率的な維持管理を実施

- ・ サイクル型維持管理(監視、評価、改善)
- ・ 河川・河川管理施設の巡視・点検、調査
- ・ 地域と連携・協働する河川管理



河川巡視(監視) 河川測量(監視) ボランティアによる河川清掃(改善)